



NO. 834
 発行
 2014年
 12月10日
 国鉄労働組合
 新潟地方本部
 発行責任者
 上石 昌彦
 編集責任者
 教 宣 部

大変ご苦勞様でした

地本・退職者激励会開く

地本・退職者激励会が11月23日12時から地本事務所で開催されました。今年度は6名で小林和夫さんが出席されました。

加藤執行委員の開会あいさつでは、上石委員長のあいさつ・来賓では、退職者組合・新潟地方連合会・刈屋議長のあいさつ・退職者の紹介、賞状授与、記念撮影を行いました。全体で支部代表・分会代表を含め14名が出席しました。懇親会は会場を「割烹ますすがたや」に移し交流を深めました。



上石委員長 あいさつ



2014年度は6名が対象者で本日は小林さんが出席している。昨年は60歳でしたが、今年度は54歳などバラバラな年齢で退職される。

国労は人数が少なくなった。拡大が無く退職者だけが増えている。3名が55歳で退職している。もう少し、60歳まで頑張っていたかったが～大変ご苦勞様でした。

まだ若いので、これからいろいろやって欲しいと思う。国労だったことを生かして欲しいと思う。懇親会で交流を深めていきたい。

年末に衆院選が行われる。アベノミクス・消費税10%・集团的自衛権など大きな問題がある。危険な方向へ行こうとしている。選挙でせいっぱい頑張っていきましょう。



最初に、退職される小林さんから「出席がひとりでビツクリしている。昭和57年に国鉄に採用されて長岡操車場に配属された。そこで傷害事故が発生。国労の皆さんから励まされ32年間勤めることができた。感謝の念に耐えない。先輩の皆さん、国労の皆さんが大好きだった。」

懇親会では、退職者組合議長の刈屋さんの乾杯の音頭でスタートしました。
国労の皆さんが大好きだった
小林和夫さん

退職者組合への加入を 刈屋議長あいさつ



来賓では退職者組合・刈屋議長から「第43回総会で議長に就任した。組織は、全国で3万4百名・地本で7百名という厳しい組織状況だ。毎年、年間、70名の方々が亡くなっている。」

退職者組合は、老後の生活を守る闘いや年金が減額にされるので、その反対の署名活動を取り組んでいる。署名は6万7千筆を集約した。要請行動を展開し政治闘争で勝ち取っていく。国会が解散し陳情ができなくなった。

小林さんが退職者組合に加入され安心して居る。60歳以降、できるだけ多くの加入を訴える。共済も継続して欲しい。

65歳以上、働く意欲がある場合は一時金が支給される。(高齢者求職一時金、30日分・50日分支給される)



酒田支部の原田建さんの奥さんから手紙が届きました。

田澤書記長が代読しました。紙面に載せました。



乾杯の後は、各支部・各分会の代表の方々から激励の言葉がありました。

それぞれ、退職される方の職場・支部の代表から、昔の思い出が話されました。

懇親会は最後に、全体で国鉄労働組合歌を歌いました。今回は出席者が少なかったですが、素晴らしい退職者激励会になりました。



年々退職され組織人員が減少してきます。国労の運動を残していくために、組織拡大を取り組んでいきましょう。お疲れさまでした。



国鉄労働組合 新潟地方本部
執行委員長 上石昌彦 様
組合員皆 不承

夫、原田建はあと少しで退職の日を迎える予定でした。3度目の入院中に容体が急変し、残念ながら帰らぬ人になってしまいました。入院中から、最後の見送りまで、組合員の皆様や先輩の方々、沢山の掛け声や、心掛をいただき感謝の気持ちでいっぱいです。

本当に、本当にありがとうございました。

今回は、欠席致しますが、酒好きな人でしたのでお世話になった皆様には是非お酒をと思い少しお酌の気持ちをお贈り致します。

どうぞ、有意義な会にして下さい。

ありがとうございました。

原田 良

編集後記

12月に入って今年もあとわずかになりました。今シーズンは暖冬だとマスコミ報道がありました。12月1日から冬型が強まり、4日から雪が新潟市内でも降り、30センチを超える積雪になりました。

6日の朝は、交通機関はマヒし道路は雪で覆われ大変な状況でした。

5日は、JR貨物の年末手当支給日でした。1・32ヶ月分。非常に厳しいです。年末なのに借金が払えるのかどうか心配しています。本当に厳しい年末になりました。

衆院選・がんばりましょう。暴走安倍内閣をストップさせましょう。

